

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年 1月19日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 4 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	1号機	1月2日に確認された貫通部劣化による空気流入に鑑みた確認を行っていたところ、サービス建屋地下2階温水ボイラー用変圧器室(非管理区域)において、扉(2箇所)の隙間から管理区域の空気の流入が認められたため、原因調査・対策検討。 なお、非管理区域の放射性物質の濃度は検出限界値未満であり、管理区域からの放射性物質の放出はない。 また、当該境界扉はテープにて養生を行ったことにより、管理区域から非管理区域への空気の流入停止を確認。	GⅢ	1月14日
2	2号機	直流250V蓄電池セルNo. 2の電圧低下(管理値2.10V~2.20Vに対し2.04V)が認められたため、当該蓄電池セルを点検・調整。 なお、直流250V蓄電池全体では250V以上の電圧を確保できていることから、蓄電池の性能に影響はない。	GⅢ	1月14日
3	4号機	中央制御室のエリア放射線モニタにおいて、「エリア放射線モニタ下限/動作不良」警報の発生が認められたため、当該エリア放射線モニタを点検・修理。 なお、指示値は通常値から変化がなく、毎日1回中央制御室の放射線測定により線量の変化を確認していることから、中央制御室内の放射線管理に問題はない。	GⅢ	1月9日
4	1・2号廃棄物処理設備	廃棄物処理建屋の退出モニタNo. 3において、「退出モニタ異常」警報の発生が認められたため、当該退出モニタを点検・修理。 なお、点検の結果、低圧電源モジュールの不良であったことから、当該モジュールを予備品と交換。	GⅢ	1月14日